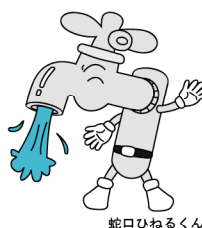


# 平成21年度 水道事業会計予算

平成21年度の予算と主な事業  
についてお知らせします。

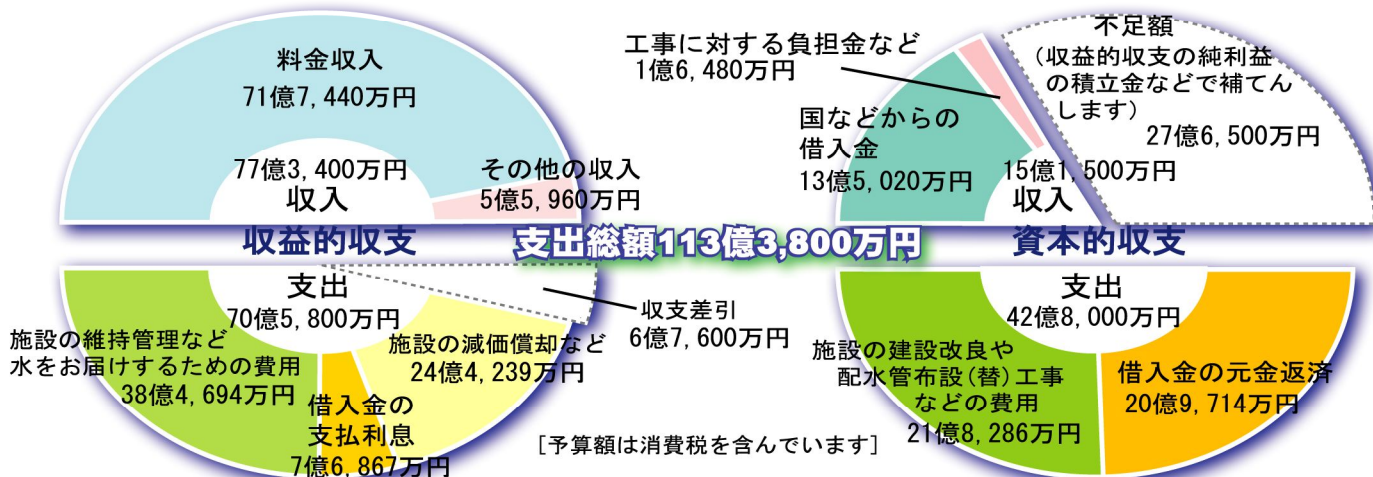
厳しい経営環境が続いていますが、  
効率的な事業運営にいつそう心がけ  
市民サービスの向上に努めます。



蛇口ひねるくん

## ご家庭に給水するための収入支出

## 水道施設を整備・拡充するための収入支出



## 概要

水道料金収入は、景気の下落等により、使用水量の減少傾向が続くとの見込みから、前年度当初予算と比較して2億3,330万円減少するという厳しい見通しとなっています。

収益的支出予算、資本的支出予算を合わせた予算規模は、旭浄水場更新事業で増えましたが、昨年度14億円にのぼった企業債元金の繰上償還がなくなり、企業債支払利息や人件費が減少したこと、国の平成20年度第二次補正予算対応に伴う平成20年度への前倒しによる事業の減、対象箇所への減少による配水管布設事業の減などにより前年度当初予算に比べ19.4%、金額にして25億5,700万円減の総額113億3,800万円となりました。

## 主な事業

- 送配水施設整備事業 1億5,500万円  
水量水圧の均衡化と増強を図るため、配水管布設を1,515mおこないます。
- 漏水防止対策事業 5億8,580万円  
無ライニング铸铁管の布設替を1,225m、漏水調査を900kmおこなうなど漏水防止対策をすすめます。
- 災害対策事業 2億3,146万円  
平成20年度から2年間の継続事業である送水幹線二重化(1工区)、城西公園への非常用貯水槽設置(18基目)など災害対策をおこないます。
- 増補改良事業 16億3,600万円  
平成17年度から5年間の継続事業である旭浄水場(浄水施設)更新、平成21年度から4年間の継続事業である旭浄水場(配水施設)更新、針木浄水場施設整備など施設の整備、配水管布設替・移設等の配水管整備をおこないます。
- 水源地域対策事業 2,282万円  
水源かん養林取得、水源かん養林間伐、水のふるさとフェスティバルなどの水源地域との交流事業をおこないます。



昼夜おこなわれている漏水調査。道路からメーターまでの戸別調査では、メーター部に音調棒をあてて調査をします。

### キーワード

### 収益的収支と資本的収支



水道事業会計の予算は、「収益的収支」と「資本的収支」の二本建て予算となっています。

「**収益的収支予算**」は、当該年度一年間の経営活動に伴い発生する水道料金等の収益と、それに対応する費用が計上されます。費用には、人件費、物件費、動力費、支払利息等のように現金支出を伴う費用のほか、減価償却費のように現金支出を伴わない費用もあります。この「現金支出を伴わない費用」に相当する額は、収益的収支の赤字額(純利益)とともに内部留保資金として水道局内にプールされます。

「**資本的収支予算**」は、支出の効果が次年度以降におよぶ費用(水道施設の建設改良費など)や、長期の負債にかかる支出(企業債元金償還金)などと、これらに対する財源が収入として計上されます。一般的に支出額が収入額を上回るかたちになりますが、この不足額は収益的収支で発生した内部留保資金で補てんされることになります。また、建設改良費の財源として国などから借り入れた企業債の元金・利子の支払は、その施設の恩恵を受ける将来の水道使用者の水道料金で返済することとしています。

将来への投資である建設改良(資本的支出)を過大にすると経営を破綻させることとなり、逆に抑制しすぎると水道の安定供給が将来滞ることとなるため、バランスをとった予算としています。